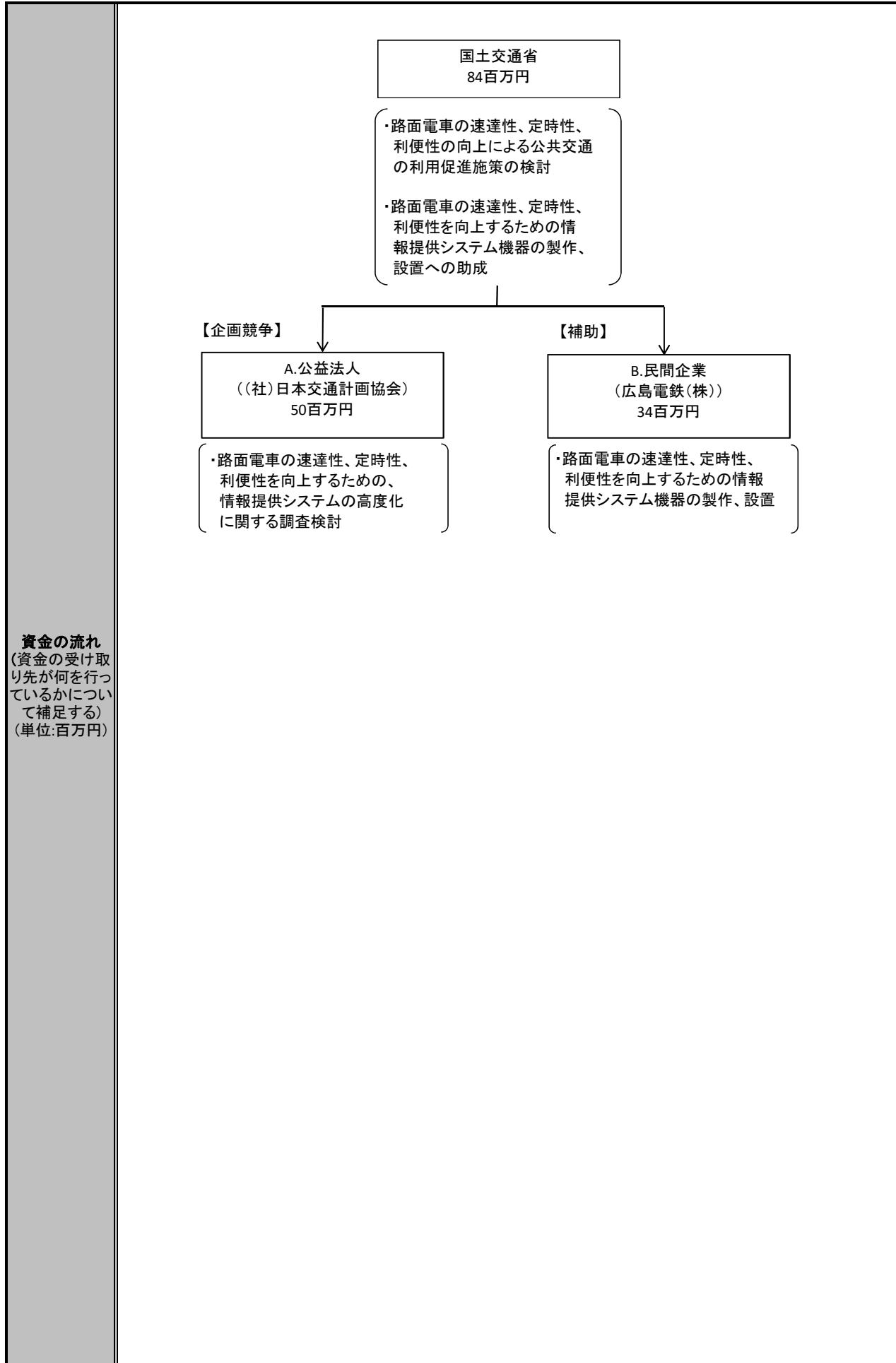


行政事業レビューシート					(国土交通省)
予算事業名	道路交通適正化のための公共交通利用促進施策に係る経費	事業開始年度	平成18年度	作成責任者	
担当部局	都市・地域整備局	担当課室	街路交通施設課	課長 松井 直人	
会計区分	一般会計	上位政策	道路交通の円滑化を推進する		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	・路面電車の速達性、定時性、利便性を向上させるシステムを開発することにより、自動車から路面電車など公共交通への転換を図るとともに、渋滞の緩和や環境負荷の軽減など道路交通の適正化に資すること目的とする。				
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車の速達性、定時性、利便性を向上させるため、 ①路面電車の通過を優先して、信号を制御するシステム ②電停で待っている利用者に対して、接近する路面電車の到着予想時刻等を情報提供するシステム ③路面電車の接近情報をバス運転士に知らせることにより、バスの出発時刻を調整するシステム などのシステムに関する実証実験を実施して施策の効果などを把握するとともに、軌道事業者に対してこれらのシステム機器の製作、設置について助成を行う。 				
実施状況	<p><平成21年度の実施状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電停付近の地下街において接近する路面電車の到着予想時刻等を表示するシステムの実証実験等を実施。 				
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度
	予算額(補正後)	200	150	85	—
	執行額	197	100	84	
	執行率	98.5%	66.5%	98.5%	
	総事業費(執行ベース)	—	—	—	
自己点検	支出先・使途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> ・当該予算の執行は国土交通省で実施しており、全ての支出先を把握している。 ・また、入り及び契約内容の妥当性については、第三者機関である入札監視委員会等により審議いただいている。 ・軌道事業者への助成については、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律に基づく補助金交付申請時に使途の把握を行うとともに、同法に基づく実績報告において実績の把握を行っている。 			
	見直しの余地	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車の速達性、定時性、利便性を向上させるため、路面電車の通過を優先させる信号制御システムや到着予想時刻等を表示する情報提供システムなどに関する実証実験を実施してきており、平成21年度はこれまでの成果をとりまとめた。 ・今後は、実証実験による成果を活用して、軌道事業者や地方公共団体による路面電車の速達性、定時性、利便性の向上を推進していくことが課題である。 			
予算監視の所効見率化					
補記	062 道路交通円滑化推進費 (予算額) (決算見込額) 95016-2123-09 道路交通円滑化推進調査費 50百万円 50百万円 95016-2405-16 公共交通利用支援事業費補助金 35百万円 34百万円				



費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出さ れている者に ついて記載す る。使途と費目 の双方で実情 が分かるよう に記載）	A.(社)日本交通計画協会			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	業務	情報提供システムの高度化に關する調査検討	45			
	外部委託	アンケートの印刷、集計作業等	5			
	計		50	計		0
B.広島電鉄(株)	B.広島電鉄(株)			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	補助金	情報提供システム機器の製作、設置	34			
	計		34	計		0
C.	C.			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
D.	D.			H.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0